



## みんなのできる 地球温暖化防止活動

— 環境審議会の委員として活動してました!! —

※マークは県の地球環境保全のキャラクターです

福島県地球温暖化防止活動推進センター

事務局長 鈴木和隆

(特定非営利活動法人うつくしまNPOネットワーク)

■会社の仕事が忙しくなり、再委嘱の手続きが……

現在104名いるうつくしま地球温暖化防止活動推進員の名簿に、南会津町にお住いの平野裕子さんのお名前がありません。観光系の会社に勤務する会社員です。何度かセンターに連絡をいただくなど、環境問題に熱心な方でした。「推進員をお辞めになったのですか?」「はい、仕事が忙しく活動を続けることが難しくなり、再委嘱の手続きができませんでした。」

■推進員になったきっかけ

「15年ほど前に、近所で活動していた推進員の方が、体調を崩してお辞めになるときに、代わりに推進員として活動してみないかと誘われたことがきっかけでした。」町のイベント会場でパネルやポスターを掲示し、地球温暖化防止活動を啓発したり、地域の人たちとごみ処理施設の視察などをしました。

「町の環境審議会の委員になり、食品ロスの大切さ、

ゴミの削減やリサイクルアップが大事であることを発言しました。」第2次南会津町環境基本計画としてまとまったそうです。

■国の天然記念物に指定されている駒止湿原

南会津町と昭和村にまたがる駒止(こまど)湿原は高層湿原です。春から夏にかけてミズバショウ、ヒオウギアヤメ、ワタスゲ、ニッコウキスゲなどが一齐に咲きます。秋には360度に広がる紅葉の絶景を楽しむこともできます。「以前は見ることがなかった特定外来植物オオハングンソウが群生し、逆にオオムラサキを見ることが減りました。動植物を観察すると環境が変化していることを感じるができます。」

■みんなのできる地球温暖化防止活動

「南会津町でも、近年は雨が短時間で一気に降ることが増えてきました。2015年9月の関東・東北豪雨と2019年10月の台風19号で、2度も駒止湿原へ入山する道路が土砂崩れで不通になりました。地域の人たちが、湿原を守ろうと活動しています。」

「平野さん、推進員に戻ってきていただけますか。」「はい、仕事と推進員の活動を両立できるようにして、再委嘱の手続きをしたいと思います。そして、南会津で一緒に活動する推進員を増やしたいですね。」

(Web) <http://fukushima-ondankaboushi.org/>